



シリーズ218

# 高めよう！ 人権意識

## 心のかけ橋

人権・生涯学習課  
(☎928-1006)

全ての人に優しい  
ユニバーサルデザイン

### ユニバーサルデザインとは

私たちには性別や年齢・国籍・障がいの有無など、さまざまな個性や違いがあります。これらを認め合い、全ての人が暮らしやすいまごづくり・ものづくり・人づくり・環境づくりなどを行っていくこととする考え方に基づいた製品・建物・空間のデザインを、ユニバーサルデザインといいます。

例えば、自動ドアは車いすやつえを使っている人だけでなく、両手に荷物を持っている人など全ての人に



▲ピクトグラム

ユニバーサルデザイン7原則	身近な例
1. 誰でも公平に利用できる	エレベーターや自動ドア
2. 使う上で自由度が高い	高さが調節できるテーブル
3. 使い方が簡単ですぐに分かる	ボタンが大きいリモコン
4. 必要な情報がすぐに理解できる	絵文字や多言語表示の看板
5. 間違えても危険につながらない	使用中に開けたら止まる電子レンジ
6. 少ない力でも使える	弱い力でも操作できるレバー式蛇口
7. 使いやすい空間や大きさがある	ゆったりとした広さの多目的トイレ

にとって便利です。また、絵文字（ピクトグラム）は遠い場所からでも見えやすく、外国人や細かい文字が読みにくい人でも分かりやすいように表示しています。

### ユニバーサルデザインの7原則

この7原則は1980年代にアメリカの建築家ロナルド・メイスが中心となって、世界中に呼びかけられました。

### 心のユニバーサルデザイン

物や施設などのハード面が整備されても、優しさや思いやりがなければ、本当の意味でのユニバーサルデザインは実現できません。困っている人を見かけたときに「手伝うことはありますか」と声をかけるなど、「自分には何ができるか」という思いを行動につなげる心のユニバーサルデザインが大切です。

例えば、車の乗り降りや歩行が困難な人のための「思いやり駐車場」を利用者がいつでも安心して使えるよう、必要な人以外は駐車しない気配りも心のユニバーサルデザインです。



▲思いやり駐車場の表示

ユニバーサルデザインのまちづくりに向け、ローズマインド（思いやり・優しさ・助け合いの心）を育てていきましょう。

認め合おうみんな違ってあたりまえ